

3. 重要文化財の保全に係る評価・跡地利用への活用方向性 (案)

本年度は、重要文化財の保全・活用について活用の方向性(案)を追加して検討した。

表 重要文化財の保全に係る評価・跡地利用への活用方向性(案)の一覧表





分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価 ○活用の方向性(案)	現地の様子
複合遺跡	1. 伊佐上原遺跡群 ①遺跡の種類 沖縄貝塚時代から戦前までに至って、遺跡の種類の多様性、時代・時期の重層性、空間的な関連性が極めて高く、周辺の地域住民の土地利用の在り方と移り変わりを明らかにできる重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 : 沖縄貝塚時代、グスク時代・古琉球、近世琉球、近代沖縄 (2)遺跡の種類 : 集落遺跡、生産遺跡、墓地、戦争遺跡等 (3)遺構・遺物の内容 : 堅穴住居跡、石器・未製品・石材集中散布、洞穴墓等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 : 時代・時期が重層、多様な種類の遺構を有する遺跡群 (2)遺跡の評価項目 : 宜野湾市の歴史の正しい理解のために欠くことができない。市の各地域における歴史の特徴をよく示す。 : 学術的価値がある。遺跡の保存状態が良好。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●沖縄貝塚時代から近代沖縄にわたる地域の歴史の移り変わりを知る時代・時期が重層する遺跡群。 ●琉球文化の原風景、遺跡の種類の多様性、空間的な関連性を把握することが可能。 ○複合的遺産群としての重要性から、遺跡区域の土地を改変せず保全する。 ○当時の地域社会と土地利用のあり方の学習的資源として活用する。	 遺跡の遠景  F地点堅穴住居跡(沖縄県立埋蔵文化財センター蔵)
	12. 宜野湾ウツウツ遺跡 ①遺跡の種類 谷底低地の崖上に所在し、字宜野湾の聖地として現在でも信仰の対象となっている祭祀遺跡。また、遺跡地にある2基の石祠や海砂利敷遺構などは、村落祭祀の在り方と移り変わりを知る重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 : グスク時代・古琉球、近世琉球、近代沖縄、戦後沖縄 (2)遺跡の種類 : 祭祀遺跡、集落遺跡 (3)遺構・遺物の内容 : 海砂利敷遺構、祭祀祠、石列、土坑等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 : 近世琉球・近代沖縄の祭祀関連遺構群 (2)遺跡の評価項目 : 宜野湾市の歴史の正しい理解のために欠くことができない。市の各地域における歴史の特徴をよく示す。 : 学術的価値がある。遺跡の保存状態が良好。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●御嶽祭祀の在り方とその推移を把握する上で重要な遺跡。 ●首里王府との公事の関与、伝統的な村落の御嶽祭祀等を知る。 ●現在も、字宜野湾郷友会が御嶽を実施。凝灰石製の寄進灯籠、復元された石祠が残されている。 ○伝統的な祭祀を行う場所として、緑地の再生とともに区域を保全する。 ○祭祀空間として聖域の遺跡区域全体の保全・活用を図る。	 遺跡の遠景  復元された石祠
	9. 神山トウシ遺跡 ①遺跡の概要 ・字神山の伝統的な集落の近傍にあり、集落の草分けの有力者が寄り集った場所。遺跡には、戦前からの石祠が保存良く残っており、字神山の村落構造と祭祀の在り方を知る重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 : 近世琉球、近代沖縄 (2)遺跡の種類 : 集落遺跡、祭祀遺跡 (3)遺構・遺物の内容 : 石祠、香炉	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 : 近世琉球・近代沖縄の祭祀関連遺構 (2)遺跡の評価項目 : 宜野湾市の歴史の正しい理解のために欠くことができない。市の各地域における歴史の特徴をよく示す。 : 学術的価値がある。遺跡の保存状態が良好。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●字神山の村落構造と祭祀の在り方を知る重要な遺跡。 ●ムラアシビ(ムラ遊び)、農作物のウガン(御願)タントイ(種子取)等の伝統的な行事が行われていた。 ○古集落の重要な遺跡として、保全活用する。 ○伝統的な祭祀を行う場所として、緑地とともに区域を保全する。 ○祭祀空間として聖域の遺跡全体の保全・活用を図る。	 遺跡の遠景  遺跡内のトウシ拝所  遺跡内の井戸

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価	現地の様子
				○活用の方向性(案)	
複合遺跡	10. 神山テラ ガマ洞穴遺跡 ①遺跡の概要 出土した線刻石版は、県内で唯一利用状況が明確な遺物。遺跡はまた、字神山の聖地として 現在でも信仰の対象 となり、普天満宮の祭神である女神伝承を伝えるなど、 字神山と宜野湾市にとって重要な遺跡 。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球、近代沖縄、戦後沖縄 (2)遺跡の種類 :洞穴遺跡、集落遺跡、祭祀遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :海砂利敷遺構、線刻石板、香炉 等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 祭祀関連遺構 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。遺跡の 保存状態が良好 。 検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●字神山の共同祭祀場としての洞穴遺跡、 線刻石板が出土 。 ●神山部落の防空壕、戦前まで部落の 祭祀場 として利用。 ○洞穴、地形、緑地とともに 周辺地区 を保全する。 ○古集落の 伝統的な祭祀を行う場所 として、保全・活用する。 ○祭祀空間として聖域の 遺跡全体 を含めた保全・活用を図る。	 洞穴の入口  洞穴内の拝所  遺跡出土の線刻石板

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価 ○活用の方向性(案)	現地の様子
古集落	4. 新城古集落 ①遺跡の概要 県内初の単一村落の民俗誌である『シマの話』に詳細に記載される明治末の字新城の生活の舞台となった遺跡であり、 近代沖縄の伝統的な村落の在り方 を正しく理解する上で欠くことのできない重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球、近代沖縄 (2)遺跡の種類 :集落遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :柱穴、土坑、溝、石列、井戸等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球の 集落関連遺構群 。 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。 遺跡の保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●近代沖縄の 伝統的な村落景観 を知る重要な遺跡。 ●琉球文化の 原風景 、遺跡の種類の 多様性 、 時代・時期の重層性 、 空間的な関連性 を把握することが可能。 ○伝統的な古集落の佇まいを再生するため、 重要な遺跡及び関連する遺跡 の保全活用を図る。	 遺跡の遠景(左側の木々が屋敷林)  遺跡の近景
	7. 赤道波呂寒原屋取古集落 ①遺跡の概要 字赤道に移住した屋取の古集落。屋敷地には、 沖縄の伝統的な民家 に配置される母屋・台所・離れ屋・豚小屋兼便所・井戸などの基本的な施設があり、 屋敷林も保存 よく残されている重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球・近代沖縄 (2)遺跡の種類 :集落遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :母屋、台所、離れ家、豚小屋兼便所、畜舎、井戸等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 集落関連遺構群 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値ある。遺跡の 保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●近世琉球・近代沖縄の 伝統的な村落景観 (屋取集落)。 ●琉球文化の 原風景 、遺跡の種類の 多様性 、 時代・時期の重層性 、 空間的な関連性 を内包する複合的な遺跡群。 ○伝統的な古集落の佇まいを再生するため、 重要な遺跡及び関連する遺跡 の保全・活用を図る。	 遠景  屋敷跡 母屋・台所・アサギ  共同井戸  フール(豚小屋)

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価 ○活用の方向性(案)	現地の様子
古湧泉	5. 新城シマヌカ一古湧泉 ①遺跡の概要 石灰岩台地の丘陵斜面地に位置する、 ウリカー(降り泉)様式 の古湧泉。古湧泉は、洞穴内に貯水槽や樋などを設けた 県内屈指の構造 であり、 宇野湾の生活用水と村落祭祀の在り方 を知る重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球、近代沖縄、戦後沖縄 (2)遺跡の種類 :集落遺跡、祭祀遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :横穴洞穴利用湧泉、貯水槽、樋、洗い場、石製香炉等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 集落・祭祀関連遺構 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。遺跡の 保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●古湧泉の 構造の貴重性、生活・祭祀との密接な関わり を知る重要遺跡。 ●横穴洞穴に形成された切石造、生活水、拝所として 地域住民との関わりが深い 。 ○古集落の重要な遺跡として 源泉の確保、地形、緑地とともに湧泉の再生・活用 する。 ○古集落とネットワークする、 動線を確保 。 ○ 地域の伝統的な行事を行う空間 として 保全・活用する。	 <p>古湧泉の入口 [古湧泉内から外をみる]</p>  <p>古湧泉の外観 [1950 年代]</p>
	12. 宜野湾メヌカー古湧泉 ①遺跡の概要 石灰岩台地の陥没ドリーネに形成された古湧泉。古湧泉は、飲料水・浴水・洗濯用水の3槽に仕切られるなど 県内屈指の石造建築物 であり、宇野湾の 生活用水と村落祭祀の在り方 を知る重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球・近代沖縄、戦後沖縄 (2)遺跡の種類 :集落遺跡、祭祀遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :陥没ドリーネ利用湧泉、石畳道、石積、貯水槽、石碑等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 集落・祭祀関連遺構 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。遺跡の 保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●古湧泉の 構造の貴重性、生活・祭祀と密接との関わり を知る重要遺跡。 ●石灰岩台地の陥没ドリーネに形成された古湧泉。 ●生活用水、拝所として 地域住民との関わりが深い 。 ○ 源泉の確保、地形、緑地とともに湧泉の再生・活用 する。 ○古集落とネットワークする、 動線を確保 する。 ○ 地域の伝統的な行事を行う空間 として活用する。	 <p>遺跡の近景 [古湧泉と石碑]</p>  <p>遺跡の近景 [1950 年代]</p>

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価	現地の様子
				○活用の方向性(案)	
古湧泉	13. 神山クシヌカー古湧泉 ①遺跡の概要 石灰岩台地の丘陵崖に所在する横穴洞穴に形成される。古湧泉は、洞穴の開口部の両側面に切石を積んで湧水口を造るなど、字神山の 戦前の生活用水と村落祭祀の在り方 を知る重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球・近代沖縄、戦後沖縄 (2)遺跡の種類 :集落遺跡、祭祀遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :横穴洞穴利用湧泉、石積等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 集落・祭祀関連遺構 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。 遺跡の保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●古湧泉の 構造の貴重性、生活・祭祀との密接な関わり を知る重要遺跡 ●横穴洞穴に形成された切石造 ●生活用水、拝所として 地域住民との関わりが深い 。 ○源泉の確保、周辺の地形、緑地とともに 湧泉の歴史・文化的景観 に保全・活用する。 ○古集落とのネットワークする、 動線 を確保。 ○ 地域の伝統的な行事を行う空間 として活用する。	 古湧泉の遠景  古湧泉の近景  古湧泉の内部状況

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価	現地の様子
				○活用の方向性(案)	
古墓群	6. 赤道線呂 寒原古墓群 ①遺跡の概要 琉球文化特有の 7基の亀 甲墓 を主とする長さ約120mの直線上に連なる 12基で構成 され、近世琉球の地域社会における 亀 甲墓の受容年代と墓造りの移り変わり を知ることができる重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球・近代沖縄 (2)遺跡の種類 :墓地 (3)遺構・遺物の内容 :亀甲墓	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 亀甲墓群 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。 遺跡の保存状態が良好 。 検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができる。	●亀甲墓の 造墓年代と古墓の造り を知るうえで重要な古墓群 ●字宜野湾、字神山にまたがる屋取集落を形成 ●亀甲墓、野面石積み等の古墓群	 遠景
				○琉球文化特有の亀甲墓等で構成された古墓群の、歴史・文化的景観の再生として保全する。 ○周辺の地形、緑地とともに一体的に保全する。	 古墓群内の亀甲墓 雍正 14 年(1736)
					 古墓群内の亀甲墓 乾隆 23 年 (1758)
					 古墓群内の亀甲墓 道光 7 年 (1827)

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価	現地の様子
				○活用の方向性(案)	
生産跡	3. 野嵩タマタ原遺跡 ①遺跡の概要 グスク時代の農耕跡が県内で初めて確認された遺跡。遺跡の農耕跡の保存状況は良好で、 沖縄のみならず、日本・東アジアにおける植物栽培の在り方 と移り変わりを知らうえで重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :グスク時代・古琉球、近代沖縄、戦後沖縄 (2)遺跡の種類 :生産遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :植栽穴、石列、溝、焼土面 等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :グスク時代・古琉球の 生産関連遺構群 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。 遺跡の保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●グスク時代の農耕跡の遺構群として重要な生産遺跡。 ●沖縄、日本、東アジアにおける 植物栽培の在り方 を把握。 ○重要な生産遺跡として、遺跡区域の 土地を改変せず 保全する。 ○当時の地域社会と土地利用のあり方の 学習的資源 として活用する。	 遺跡の近景  発掘調査区の全景
	2. 上原瀧原遺跡 ①遺跡の概要 確認された遺構と遺物などにより、 沖縄貝塚時代中期 (約 2,800 年前)の 農耕関連の生産遺跡 である可能性が指摘されている遺跡。 沖縄のみならず日本・東アジアにおける植物栽培の在り方 を知るうえで特に重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :沖縄貝塚時代中期、近代琉球、近代沖縄 (2)遺跡の種類 :生産遺跡 (3)遺構・遺物の内容 :畝間状溝列、用水池、焼土面、土坑 等	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :沖縄貝塚時代中期の 生産関連遺構群 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :遺跡の保存状態が良好。 遺跡の保存状態が良好 。検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができると認められる。	●貝塚時代中期相当の遺構群として重要な生産遺跡(農耕址) ●沖縄、日本、東アジアにおける 植物栽培の在り方 を把握。 ○重要な農耕関連の生産遺跡として、遺跡区域の 土地を改変せず 保全する。 ○当時の地域社会と土地利用のあり方の 学習的資源 として活用する。	 遠景  畝間状溝列遺構

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価	現地の様子
				○活用の方向性(案)	
闘牛場	8. 神山後原ウシナー(闘牛場)跡 ①遺跡の概要 字神山の闘牛場跡。闘牛場跡は、古老によれば、明治44年(1911)頃まで利用されたと伝える。 沖縄の伝統的な娯楽文化である 戦前の闘牛場跡が県内で唯一残された 重要な遺跡。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近代沖縄 (2)遺跡の種類 :娯楽施設(闘牛場跡) (3)遺構・遺物の内容 :環状土手、木戸口	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近代沖縄の 闘牛場跡 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :学術的価値がある。 遺跡の保存状態が良好 。 検出遺構・出土遺物等の内容等から見て、市の歴史・文化を考える上で多くの情報を得ることができる。	●近代沖縄の 伝統的な娯楽文化 である、戦前の闘牛場跡として重要な遺跡。 ●闘牛場跡から見た 当時の生活 を窺うことが可能。 ●大規模な土地改変の影響が少なく 良好に保全 されている。 ○重要な闘牛場跡として、土地の改変は行わず 周辺の地形、緑地とともに 保全する。	 <p>ウシナー跡の遠景</p>  <p>近景 ウシナー盛土</p>  <p>ウシナー跡の近景〔盛土と広場〕</p>

分類	名称・概要	属性	重要度	●保全に係る評価	現地の様子
				○活用の方向性(案)	
宿道	14. 宜野湾並松街道 ①遺跡の概要 約3,000本の琉球松が植えられ、その美しさから、国指定天然記念物に指定。 「琉球王国」の主要道路である宿道、国王や王府の官人層の 普天間参詣 のみならず、近世琉球から戦前まで、 地域の人々の暮らしと地域住民のアイデンティティの拠り所 として深い関わりがある。 また、宜野湾並松街道に沿って連なる、近世琉球から戦前までの伝統的な集落や湧泉・御嶽等の村落景観は、沖縄の「亜熱帯気候」の自然環境の中で培われてきた「琉球文化」を育んだ 原風景を想起させる重要な遺跡 。	②遺跡の説明 (1)遺跡の時代・時期 :近世琉球・近代沖縄 (2)遺跡の種類 :交通遺跡 (3)遺構・遺物の内容 : (不明)	③遺跡の評価 (1)遺跡の評価の対象 :近世琉球・近代沖縄の 宿道跡 (2)遺跡の評価項目 :宜野湾市の 歴史の正しい理解 のために欠くことができない。市の各地域における 歴史の特徴 をよく示す。 :遺跡の規模、遺構、出土遺物等において 学術的価値 がある。	●琉球王国の主要道路(宿道) としての重要な交通遺跡。 ●戦前の国指定天然記念物 (現在は消失)。 ●人々の往来、地域のシンボル、生活との関連が深い。 ●沿道の伝統的集落との関連性 が重要。	 宜野湾並松  普天満宮鳥居付近  宜野湾並松街道跡[新垣義夫氏蔵]
				○地域の原風景を再生するシンボル として、並松街道を整備する。 ○沿道の古集落、馬場、一里塚、間切番所、マチャグラー等の関連施設等を含む歴史・文化的な景観の再生・活用を図る。 ○跡地利用の主要な動線 として再生、整備を図る。	